



ISSB Update は、国際サステナビリティ基準審議会（ISSB）の予備的決定を示している。これらの決定の影響を受けるプロジェクトは、[作業計画](#)で見ることができる。

IFRS®サステナビリティ開示基準に関する ISSB の最終的な決定は、IFRS 財団の「[デュ・プロセス・ハンドブック](#)」に示されているとおり正式に書面投票が行われる。

ISSB は、[2026年1月28日](#)に会議を行った。

## 関連情報：

- ・ 原文は[こちら](#)
- ・ ISSB ボード会議の要約のオーディオ（ポッドキャスト）は[こちら](#)

## 目次

### リサーチ及び基準設定

- ・ [生物多様性、生態系及び生態系サービス（アジェンダ・ペーパー3）](#)
- ・ [IFRS S1 号及び IFRS S2 号の導入（implementation）支援（アジェンダ・ペーパー9）](#)

## リサーチ及び基準設定

### 生物多様性、生態系及び生態系サービス（アジェンダ・ペーパー3）

ISSB は、2026年1月28日に会議を行い、自然関連のリスク及び機会に関する基準設定プロジェクトの目的及び範囲について議論した。

ISSB は、次のことを基礎として基準設定を進めることを決定した。

- ・ 範囲を限定するのではなく、企業の見通しに影響を与えると合理的に見込み得るすべての自然関連のリスク及び機会に関する重要性がある（material）情報を対象とする。
- ・ 企業が IFRS S1 号「サステナビリティ関連財務情報の開示に関する全般的要求事項」及び IFRS S2 号「気候関連開示」を適用していることを前提とし、それらの要求事項を補足する自然関連のリスク及び機会に関する開示要求又はガイダンスとする。

12名のISSBメンバー全員が、この決定に同意した。

### 次のステップ

ISSB は、開示要求のために定義された用語の開発から開始し、このプロジェクトについての議論を継続する予定である。

### IFRS S1 号及び IFRS S2 号の導入（implementation）支援（アジェンダ・ペーパー9）

ISSB は、2026年1月28日に会議を行い、IFRS S1 号及び IFRS S2 号に関する「移行支援グループ」（TIG）の2025年11月の会議に関するアップデートを受けた。

ISSB は何も決定を求められなかった。

### 次のステップ

ISSB は、次の TIG 会議後にアップデートを受ける予定である。